

第20期 株主通信

2019年4月1日 >> 2020年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第20期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

また、エーアンドエーマテリアルグループのCSRについてもご紹介申し上げます。

代表取締役社長

巻野 徹



「アデッキ木目」
53F メープル

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調にありましたが、米中貿易摩擦や英国のEU離脱といった世界経済の不確実性に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響から経済活動の減速懸念が強まり、先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界では、東京都心部を中心とした再開発事業や、東京オリンピック・パラリンピック関連工事等により、高水準の建設需要が続きました。

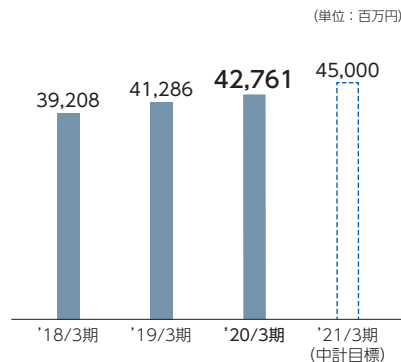
工業製品・エンジニアリング事業領域では、鉄鋼業界において中国経済の成長鈍化による世界的な市況の悪化を受け、国内外で需要は減少傾向が続きましたが、電力業界では主要な電力構成を占める火力発電所のメンテナンス需要が順調に推移しました。

このような環境の下、当社グループは「2020中期経営計画（2018年度～2020年度）」に基づき、労働生産性の向上、積極的な開発・投資、事業領域の拡大に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は完成工事高20,347百万円を含み42,761百万円（前期比3.6%増収）、営業利益3,181百万円（前期比19.8%増益）、経常利益3,151百万円（前期比20.1%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益1,992百万円（前期比0.9%増益）となり、「2020中期経営計画（2018年度～2020年度）」の最終年度の営業利益目標である3,000百万円については1年前倒しで達成しました。

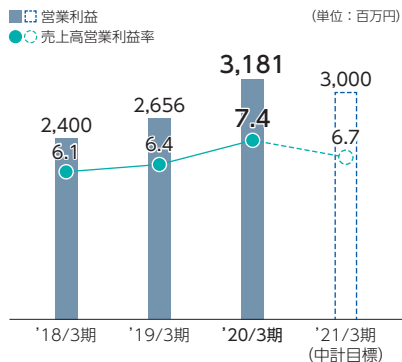
営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト／来期の見通し

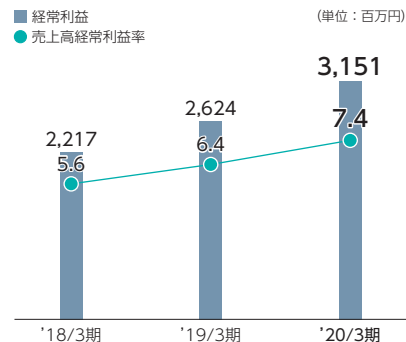
売上高



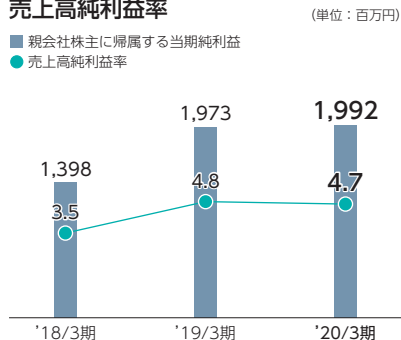
営業利益／売上高営業利益率



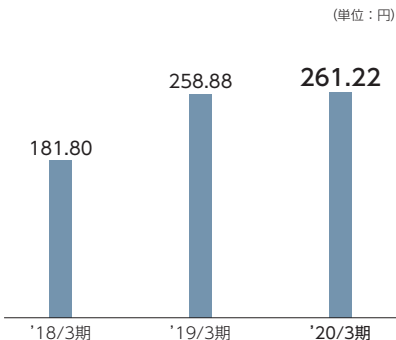
経常利益／売上高経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益 売上高純利益率



1株当たり当期純利益



来期の見通し

なお、次期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

事業概況 ~ 当社グループの製品は日々の暮らしの中で活躍しています ~

建設・建材事業部門

売上高 **20,120** 百万円 (前期比 **6.0%** 増)

材料販売

主力商品である けい酸カルシウム板「ハイラック」及び曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジーボード」が、公共物件、工場、商業施設向けに旺盛な需要を受け、前年度に引き続き好調な出荷となりました。また、海外では台湾、韓国向けに出荷が順調に推移いたしました。内装不燃化粧板は、施工現場での施工時間を短縮し、廃棄物の量の低減となる、テープのみで施工が可能な新たな工法「ステンドSpeed工法」が施工現場に広く浸透し、好調な出荷状況となりました。次に、耐火二層管は、新築マンションの着工件数が減少傾向のなかであっても、首都圏の再開発施設やオリンピック関連施設向けの出荷が寄与し、底堅く推移いたしました。材料販売全体の売上高は増収となりました。

工事

耐火被覆工事は、首都圏の再開発事業、全国的に大型商業施設、宿泊施設向けを中心に旺盛な工事引き合いが続き、現場の施工員不足が懸念されるなか強みである施工力を活かし、完成工事高は前年同期を大きく上回りました。また、当社の内装不燃化粧板を使用した建材工事も堅調に推移し、完成工事高は増収となりました。



浅野耐火パイプ



エフジーボード



ハイラック



フェザーロックNeo



ステンドシリーズ



トンネルライト

工業製品・エンジニアリング事業部門 売上高 22,597 百万円 (前期比 1.5%増)

材料販売

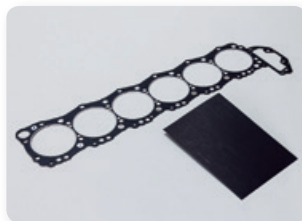
鉄鋼関連は、世界最大の鉄鋼生産国である中国経済の成長鈍化を受け国内外で市況が低迷し、ステンレスメーカー向け炉内搬送ロール「ディスクロール」の出荷が減少しました。船舶関連では、韓国や中国メーカーとの価格競争により国内造船需要が弱含むなかにあっても防火区画の多い客船や特殊船向けの防熱材等の出荷は前年同期並みを確保いたしました。自動車関連は、国内外で先行き不透明な状況が続いておりますが、プラント関連では、火力発電所の安定的なメンテナンス需要に加え、技術、施工、品質管理等総合的な現場対応の実施により国内外で非金属製伸縮継手「APコネクター」の販売が好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。また、諸産業の分野では、電力、石油化学プラント等の配管、炉内用保温、耐火材は、受注が増加し出荷是好調に推移しました。材料販売全体の売上高は減収となりました。

工事

旺盛な工事引き合いが続いており、現場の作業員不足による工期の遅れが懸念されるものの、バイオマス発電の建設工事をはじめ、プラント向けメンテナンス工事、大型物流施設断熱パネル工事等が好調に推移し、完成工事高は増収となりました。

その他

売上高 44 百万円 (前期比 12.5%減)



セミメタリックガスケットシート



APコネクター



卵形タンク外装工事



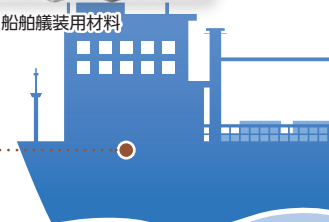
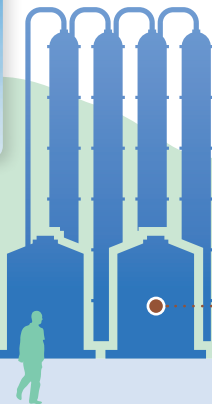
LNG保冷配管工事



プレーキライニング



船舶艦装用材料



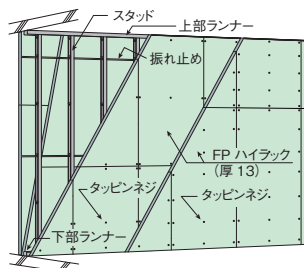
新商品案内

[FPハイラック13・13耐火 認定取得]



使用製品名	FPハイラック (0.8けい酸カルシウム板)
厚さ mm	13±0.5
幅×長さ mm	910×1820

けいカル板のみで構成された耐火間仕切壁（非耐力）の認定を新たに取得しました。強固な仕上がり、施工はカンタンです！



FP ハイラック13・13 耐火間仕切壁概要図

Strong Simple Protect

強固 × 簡単工法 × 耐火間仕切壁

新発売 の「FPハイラック」を使用
けい酸カルシウム板をビスで留め付けるだけ

[CKインジェクター]、[STファイバーブランケット] 拡販

2019年度から営業を本格化した「CKインジェクター」、2020年度から取扱を開始した「STファイバーブランケット」の拡販に注力します。

バグフィルター式集塵機に取り付けて粉塵の脱塵効果を高める製品「CKインジェクター」は実績や引き合いも増えてきました。当社に設置した実験装置での客先要求事項等のデータ検証を含め、最適な仕様をお客様へ提案します。

「STファイバーブランケット」は耐火断熱用途に開発されたブランケット形状の断熱材です。耐熱性・断熱性・柔軟性に優れたRCF（リフラクトリーセラミックファイバー）に分類されない生体溶解性ファイバーの製品です。



CKインジェクター



STファイバーブランケット

エーアンドエーマテリアルグループのCSR

私たちは、経営理念「人に優しく、地球に優しい豊かな新世紀を作る企業でありつづけます。」に基づき、ステークホルダーの皆様に対し環境面・社会面での責任を果たし、事業活動を通じた社会課題の解決とエーアンドエーマテリアルグループの成長をめざして、持続可能な社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

法令や社会規範を遵守し、公正で倫理観のある事業を推進します。

社会から
信頼される企業

環境に
配慮した企業

地球に優しい企業であるために、環境を守り、育てる企業へ前進します。

ステークホルダーとの
コミュニケーション

お客様・従業員・地域からの信頼に応え、社会の発展に努めます。

持続可能な開発目標 (SDGs) への重点的な取り組み



当社グループは、国連で採択された国際社会共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」17の目標のうち、左記の6項目に対して重点的に取り組み、

- 労働環境改革とヘルスケア
- 働き方改革と収益性向上
- 固定観念打破と事業推進
- CO₂排出量削減と産業廃棄物削減
- 品質管理と新工法開発

の達成をめざしていきます。



マテリアルバランス

当社グループでは、事業活動における様々な環境への影響を把握、管理して、天然資源、副産物の有効活用や環境負荷の低減等に努力を続けています。



※ 塩化メチレン排出量6.8tonのうち1.8tonは事業場移動量

INPUT

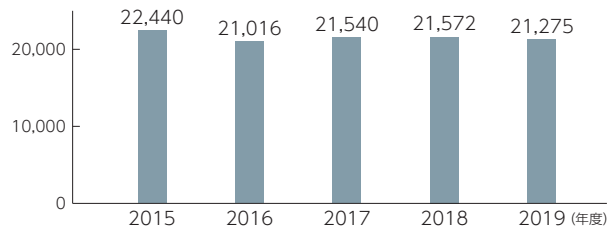
▶ 生産工場のエネルギー使用量

当社グループでは生産工場におけるエネルギー使用量が全エネルギーの98%を占めます。2019年度の生産工場のエネルギー使用量は前年度比1.4%減少しました。

2019年度は生産工場の多くが前年度から生産数量微減であったため、全体的なエネルギー使用量は抑制されました。特に主要工場である(株)イーアンドエー茨城及び(株)イーアンドエー大阪の省エネ効果が大きく影響しています。

【全生産工場のエネルギー使用量の推移】

(単位：kL)



OUTPUT

▶ 温室効果ガスの削減

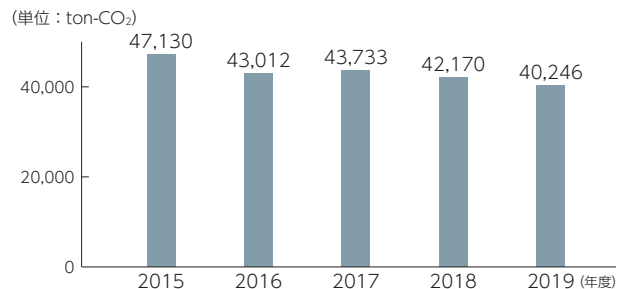
当社グループでは、地球温暖化に関与する温室効果ガス（CO₂）の排出量の調査を継続して行っています。CO₂排出量は生産量の増減により影響を受けるため、生産工場においては原単位の把握及び管理も行っています。

特に主要工場である㈱イーアンドエー茨城及び㈱イーアンドエー大阪においては中期的に目標を定めて管理を徹底しています。空気や蒸気類の漏れ防止や、徹底した日常管理や省エネルギー機器の随時導入等を進め、エネルギーの削減に継続して取り組んでいます。

2019年度の当社グループにおけるCO₂総排出量（基礎排出係数換算）は40,980ton-CO₂（生産工場で40,246ton-CO₂）となり、前年度比約4.8%減（生産工場で4.6%減）となりました。また主要2工場のCO₂排出量原単位は、前年度から約4%減（2016年度比で12.3%減）と大きく減少しており、エネルギー削減効果が表れています。

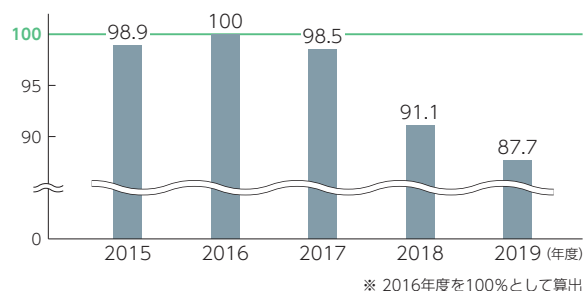
【全生産工場のCO₂排出量*推移】

※実排出係数



【主要工場のCO₂排出量原単位の推移】

(単位：%)



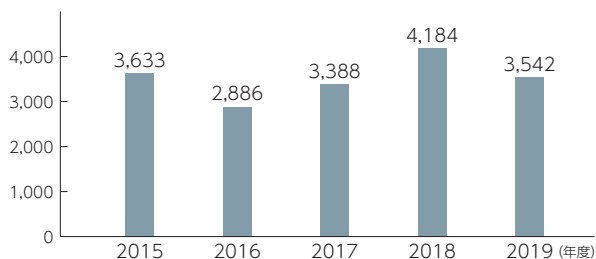
▶ 産業廃棄物排出量の削減

2019年度の産廃排出量は前年度比15.3%減となりました。これは前年度排出量の多かった朝日珪酸工業㈱をはじめ、グループ全体での削減対策に効果があった影響です。

今後も端材等を原料の一部としたリサイクルや、不良率低減による不良品廃棄の削減に努めてまいります。

【産業廃棄物排出量の推移】

(単位：ton)



けい酸カルシウム板「ハイラック」の廃材再生利用

～国立競技場建設廃材に広域認定制度を活用して～

「国立競技場」建設にあたって、主力製品であるけい酸カルシウム板「ハイラック」が採用されました。主に耐火間仕切壁やバックヤードに使用されています。

ハイラックは施工時に廃材が発生しましたが、広域認定制度を利用し、ハイラックを製造した(株)エーアンドエー茨城で引き取り、原材料の一部として再生利用しました。

当社グループでは環境負荷を低減し、持続可能な環境配慮型社会の実現に向け活動しています。実際に競技が行われるのは来年になりますが、このように参画することも当社グループの環境貢献のひとつの形と考えています。



国立競技場（大成建設株式会社提供）



廃材として受け入れる荷姿（フレコンバッグ）



ハイラック納入時の荷姿

会社概要／株式の状況

1. 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住所	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
設立	1924年3月4日(大正13年)
電話	045-503-5760(代表)
資本金	38億8千9百万円
従業員数	866名(連結) 219名(単体)
子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ エーアンドエー工事株式会社 関東浅野パイプ株式会社 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪

2. 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,759,531株 (自己株式18,469株を除く。)
株主数	4,706名

3. 役員 (2020年6月26日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	巻野 徹
取締役専務執行役員	中村 宏之
取締役専務執行役員	新川 篤志
取締役常務執行役員	侯 雷
取締役常務執行役員	弟子丸 茂明

取締役(社外)	田倉 榮美
取締役(社外)	東海 秀樹
常勤監査役(社外)	毛利 裕
常勤監査役	大和田 彰
監査役(社外)	松井 功

執行役員

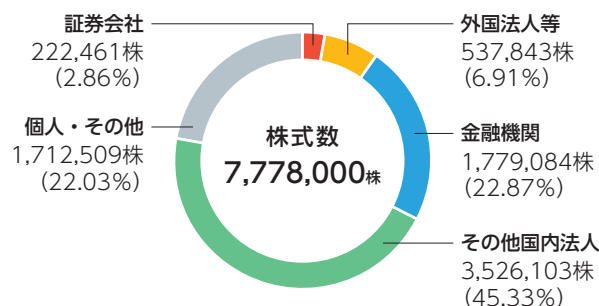
執行役員	太見 健志
執行役員	工藤 誠司
執行役員	大島 武人
執行役員	高原 一登

4. 大株主 (2020年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,694	4.76
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
株式会社みずほ銀行	2,013	2.59
株式会社三井住友銀行	1,884	2.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,656	2.13
MSIP CLIENT SECURITIES	1,504	1.93
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	1,317	1.69
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,024	1.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,013	1.30

(注) 持株比率は、自己株式18,469株を控除して計算しております。

5. 所有者別分布状況 (2020年3月31日現在)



WEBサイトのご紹介

当社では企業活動に関するお知らせや資料などをWEBサイトに公開しており、随時最新版が同サイトで確認できるようになっております。

🔍 エーアンドエーマテリアル 検索

<https://www.aa-material.co.jp>



早わかりA&AM (トップページより)



IR情報トップ

株主メモ

事業年度

4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日

3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会

毎年6月中

単元株式数

100株

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法

電子公告 (<https://www.aa-material.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法 の変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の 店舗) でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できません のでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行 及び みずほ銀行の本店 及び 全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

AA&AM 株式会社エーアンドエーマテリアル

〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
電話 045 (503) 5760 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

